

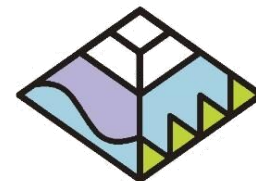
令和5年度 市場公募地方債IR資料

〈政策編〉

山梨県

<https://www.pref.yamanashi.jp/>





1. 特色あるやまなし

山梨県の概要	…	3
フルーツ王国やまなし	…	4
美酒美県やまなし	…	5

2. 成長するやまなし

メディカル・デバイス・コリドー推進計画	…	6
水素・燃料電池関連産業	…	7
やまなしモデルP2Gシステム	…	8
手厚い企業立地支援	…	9
やまなしスタートアップ推進事業	…	10

3. 開化するやまなし

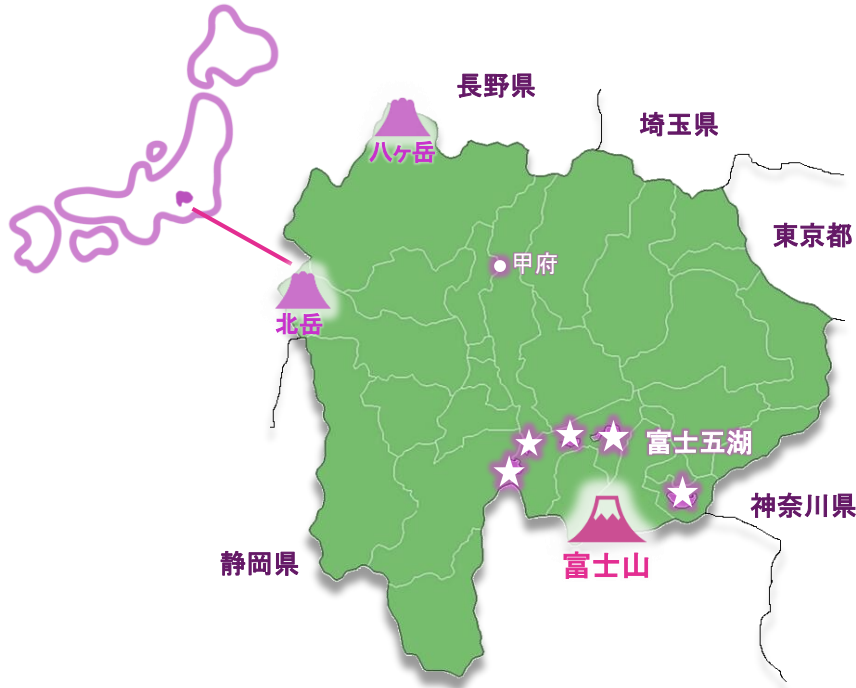
道路ネットワークの拡充	…	11
リニア中央新幹線	…	12
TRY！YAMANASHI！	…	13

4. 未来へ進化するやまなし

県立美術館	…	14
富士五湖自然首都圏構想	…	15

1. 特色あるやまなし

山梨県の概要



- ◆ 人口：796,272人
(令和5年7月1日現在)
- ◆ 面積：4,465.27km²
- ◆ 可住地面積1km²あたりの人口：844.6人/km²(令和4年)

◆ 山梨へのアクセス

○ 甲府方面

高井戸IC	中央自動車道	約1.5時間	甲府
名古屋IC	中央自動車道	約3時間	
新宿	JR中央本線	約1.5時間	
松本	JR中央本線	約1時間	
静岡	JR身延線	約2.5時間	

○ 河口湖方面

高井戸IC	中央自動車道	約1時間	御殿場IC	河口湖	
東京IC	東名高速	約1時間			約35分
名古屋IC	東名高速・新東名高速	約2.5時間			約20分
新宿	JR中央本線	約1時間	大月	富士急行線	約50分

- ◆ 日本列島のほぼ中央に位置しており、周囲を富士山、南アルプス、八ヶ岳連峰などに囲まれた自然豊かな内陸県
- ◆ 県土の約8割が森林、約3割が自然公園(秩父多摩甲斐国立公園、富士箱根伊豆国立公園)

1. 特色あるやまなし

フルーツ王国やまなし



関連サイト

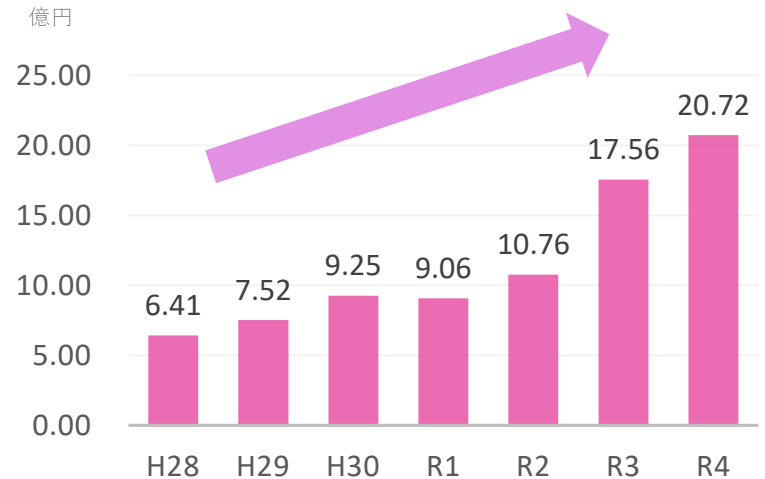
- 山梨県はブドウ・モモ・スモモの生産量が日本一！
- 農産物の高品質化・ブランド力の強化による農業生産額の向上を目指す

- ◆ ブドウの生産量 40,800 t (25%)
 - ◆ モモの生産量 35,700 t (31%)
 - ◆ スモモの生産量 5,940 t (32%)
- ※R4年生産量、%は全国生産量に占める割合

品質の高い農畜水産物づくり
→ 食の安全安心やSDGsに貢献



県産果実輸出額の推移



◆ 県産果実の輸出額は過去最高を更新

◆ 峡東地域の果樹農業が世界農業遺産に認定！





関連サイト

1. 特色あるやまなし

美酒美県やまなし

- 太陽と水に恵まれた美酒の産地、「美酒美県やまなし」
- 全国で初めて、県内のワインと日本酒の2つの酒類でGI指定※

※ 酒類の地理的表示(GI)：地域の気候や風土、伝統的な製法などを生かして、品質にこだわって生産に取り組んでいる産地を国が指定する制度。山梨県は2013年に全国で初めてワインで指定。2021年4月に日本酒でも指定された。



◆ 県の主な取り組み

- ✓ GI山梨ワイン・日本酒の試飲商談会
@ハイアットリージェンシー東京(新宿) 等
- ✓ 「美酒美県やまなし」ポータルサイトによる情報発信
- ➡ 上質な酒の産地としての認知度向上を図り、
県産酒の販売促進に繋げている

◆ ワイン

- ✓ ワイナリー数・日本ワイン生産量日本一
県内ワイナリー約90社、生産量全国シェア約3割
- ✓ 海外の権威あるコンクールで受賞
- ✓ 山梨ヌーボー(毎秋11月3日解禁)
山梨県内で今年収穫された「甲州」と「マスカット・ベリーA」を使って醸造された新酒ワイン

◆ 日本酒

- ✓ 大自然が育む唯一無二の日本酒
南アルプス山麓、八ヶ岳山麓、秩父山麓、富士北麓、富士・御坂及び御坂北麓の6水系いずれかの水を使用
- ✓ こだわりのスパークリング日本酒
米と水から自然に醸される炭酸ガスの爽快な切れ味と、米由来の上品な甘みや旨み、フルーティな香りが絶妙に調和した、爽やかな口当たり

2. 成長するやまなし

メディカル・デバイス・コリドー推進計画

- 世界的な高齢化の進展や新興国の需要拡大を受け、医療機器関連市場は今後も拡大
- 市場の成長力を本県経済にビルトイン

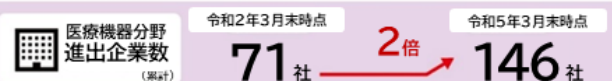
R2～R4年度 基盤構築期

山梨方式は「部材供給」

(医療機器メーカーに部品・材料を納品)

- ◆ 支援体制の確立
コーディネーターによる伴走支援
- ◆ 企業支援策の充実・強化
企業状況に応じ医療機器開発も支援
- ◆ 連携の促進
医療機器の共同開発やマッチングなどにおいて、静岡県と県境を越えた取り組みの推進
- ◆ 人材の確保・育成、情報発信
山梨大学に無償の人材養成講座を開設

→ 順調に成果を創出



R5年度～成長・拡大フェーズ

「メディカル・デバイス・コリドー推進計画2.0」へバージョンアップ

医療機器の部材供給・研究開発支援を中心に、
3つの新機軸により構想実現を加速化

軸1 高度化(デジタル・AI技術の活用)

- ◆ 首都圏を中心としたスタートアップとのオープンイノベーションの推進
- ◆ 先進的技術を融合的に活用した医療機器等実証フィールド形成

軸2 対象分野の拡大(機能性表示食品・医薬部外品等)

- ◆ 山梨大学等との連携による、健康寿命トップクラスの強みを活かした臨床データ創出の体制構築と関連製品の展開

軸3 海外展開(部材供給の海外展開)

- ◆ 海外医療機器メーカーとのマッチング
- ◆ JETRO等と連携した海外展開伴走支援の実施

2. 成長するやまなし

水素・燃料電池関連産業

- 水素・燃料電池は、国が進める「2050年カーボンニュートラル」実現の鍵となる技術
- 山梨県に蓄積した強みを生かし、水素社会の実現と地域経済の発展に貢献

◆ 研究開発拠点の集積

山梨大学 世界最高水準の研究開発拠点！

- ✓ 1978年、工学部に世界初の燃料電池実験施設を設置
- ✓ 多才な研究者陣容と先端設備を活用し、先端的研究とグリーンエネルギー分野を牽引する研究者・技術者の育成に取り組む
- ✓ 燃料電池関連の登録特許数が国内大学トップ(2012～2020)！



米倉山次世代エネルギー研究開発ビレッジ(Nesrad)

- ✓ 2023年3月開所！
- ✓ 日本を代表する燃料電池評価機関であるFC-Cubicが東京から研究拠点を移転
- ✓ さらに、水素・燃料電池、蓄電システムにおける世界最先端の研究を行う企業8社が入居



⇒ 米倉山をイノベーション拠点とし、本県を投資先として魅力ある「やまなし水素実証エリア」に

県産業技術センター

- ✓ 燃料電池の性能評価事業

HySUT※水素技術センター

- ✓ 水素ステーションの技術研究開発
- ※ Hydrogen Supply and Utilization Technology

県企業局電力貯蔵技術研究サイト

- ✓ P2Gシステム(P.8)

◆ 産業支援機構に支援窓口を設置し、専属コーディネーターを配置(2023年9月～)

- ✓ 県内企業が、今後拡大していくサプライチェーンに参入を果たし、事業拡大できるよう、きめ細かな支援を実施

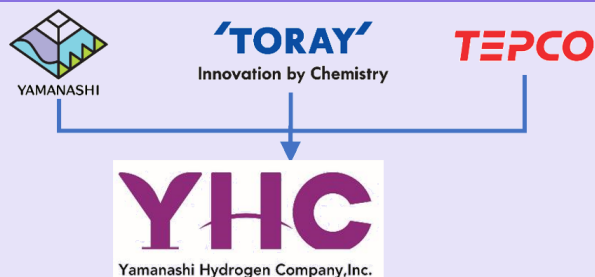
2. 成長するやまなし

やまなしモデルP2Gシステム

- 「やまなしモデルP2Gシステム※」は、山梨県企業局が民間企業と共同で開発している地域のグリーントランスフォーメーション(GX)を可能とする“やまなし発”のキーテクノロジー

※ P2G (Power to Gas) システムとは、太陽光などの再生可能エネルギーの電力を活用し、水の電気分解から水素を製造する技術です。

強力な事業実施体制



我が国で初めての
Power to Gasの専門企業を設立

知識・技術の集積



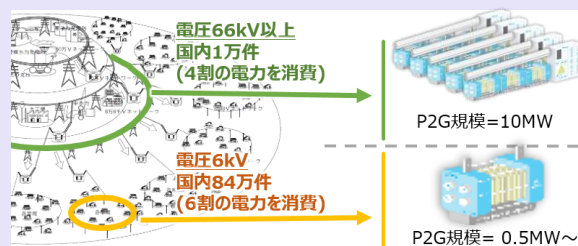
水電解装置を含む先進的な電力貯蔵技術の集積が進む米倉山

実証で得た知見



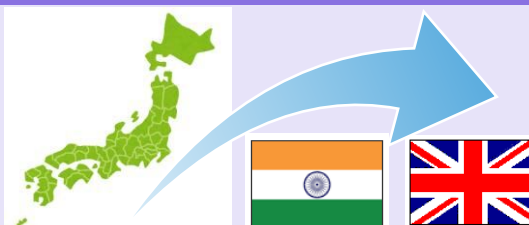
世界最高効率を目指す水電解装置を中核とした、P2Gシステムの実証運転を継続。グリーン水素を実際に国内において供給

明確な事業ターゲット



需要規模と電力網のレギュレーションのポイントを掴み標準化

国内外への展開



国内においては、県内、東京都、埼玉県、福島県へのP2Gシステム導入について取り組む
海外においてもインド、スコットランドにおいて調査事業を実施中

水素社会実現へのコミット

グリーン水素証書	
製造事業者	YHC株式会社
製造設備	山梨県米倉山
製造能力	10MW (年間製造能力)
製造時期	2023年
製造場所	山梨県米倉山
製造設備	水電解装置 (YHC株式会社)
製造設備	YHC株式会社

山梨県はグリーン水素による熱のエネルギー転換を後押しするため
グリーン水素証書を発行



関連サイト

2. 成長するやまなし

手厚い企業立地支援

- 企業立地支援の内容を拡充
- 支援対象に新たに宿泊業を追加し、上質な宿泊施設の立地を促進

産業集積促進助成金

- ✓ 県内に立地して事業を開始した製造業者等に対し、助成金を交付
 - ✓ **最大助成率 15% → 20%** / **最大助成額 15億円 → 50億円** に大幅引き上げ (2023年7月～)
 - ✓ **宿泊業を対象事業に追加し、上質な宿泊施設の立地を促進**
 - ✓ **医療機器、水素・燃料電池関連産業**に対する助成率加算をさらにUP
 - ✓ **良質な雇用を創出する県外企業**に対し新たに助成率加算
- ⇒ **本県経済の活性化と産業の高付加価値化を目指す**

実績(H18～R4)

助成件数	119件
助成額	132億円
県内移転企業数	26社

地方拠点強化税制

- ✓ 本社機能の移転等を行う事業者への税制優遇(国税・地方税)

地域未来投資促進税制

- ✓ 地域の特性を活かし、高い付加価値を創出する事業者の設備投資に対する税制優遇(国税・地方税)

◆ 活用事例： 大手芸能事務所のオフィス移転 / 大手日用品メーカーのオーラルケア用品工場設置



○ 目指すべき将来像

スタートアップと県内企業のオープンイノベーションにより、活性化するやまなし
 幅広い分野のスタートアップの県内集積 × スタートアップと県内企業のオープンイノベーション促進

◆ 主要施策

施策1 資金調達の支援

- ✓ VC等と連携体制を構築し、スタートアップへ協調出資する全国初の取り組み
- ✓ リスクマネーの流入促進

施策2 中核支援拠点の整備

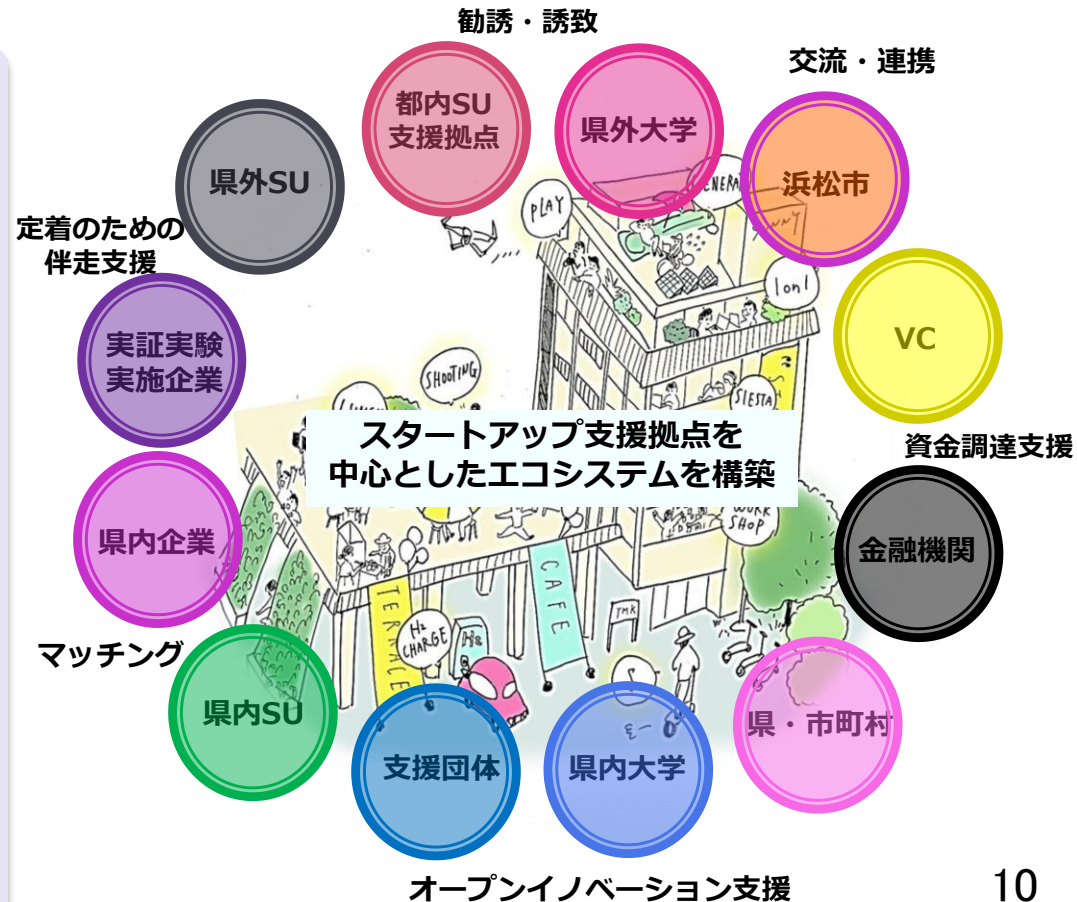
- ✓ 拠点の整備によるスタートアップの居場所づくり
- ✓ 専門マネージャーによるコミュニティ形成支援

施策3 オープンイノベーション推進

- ✓ スタートアップと県内企業のマッチングにより、課題解決や新たなビジネス創出を支援

施策4 アクセラレーションプログラム

- ✓ メンターによる伴走支援・マッチング支援により、スタートアップの県内定着・事業成長を加速化



3. 開化するやまなし

道路ネットワークの拡充

- 中部横断自動車道(静岡・山梨間)・国道138号(須走道路・御殿場バイパス)の開通
➡ 中央自動車道全線開通以来(約40年ぶり)の本県発展のターニングポイント
- 県外とつながる広域道路や県内をつなぐ幹線道路の整備が進んでいる

中部横断自動車道 (長坂～八千穂間)

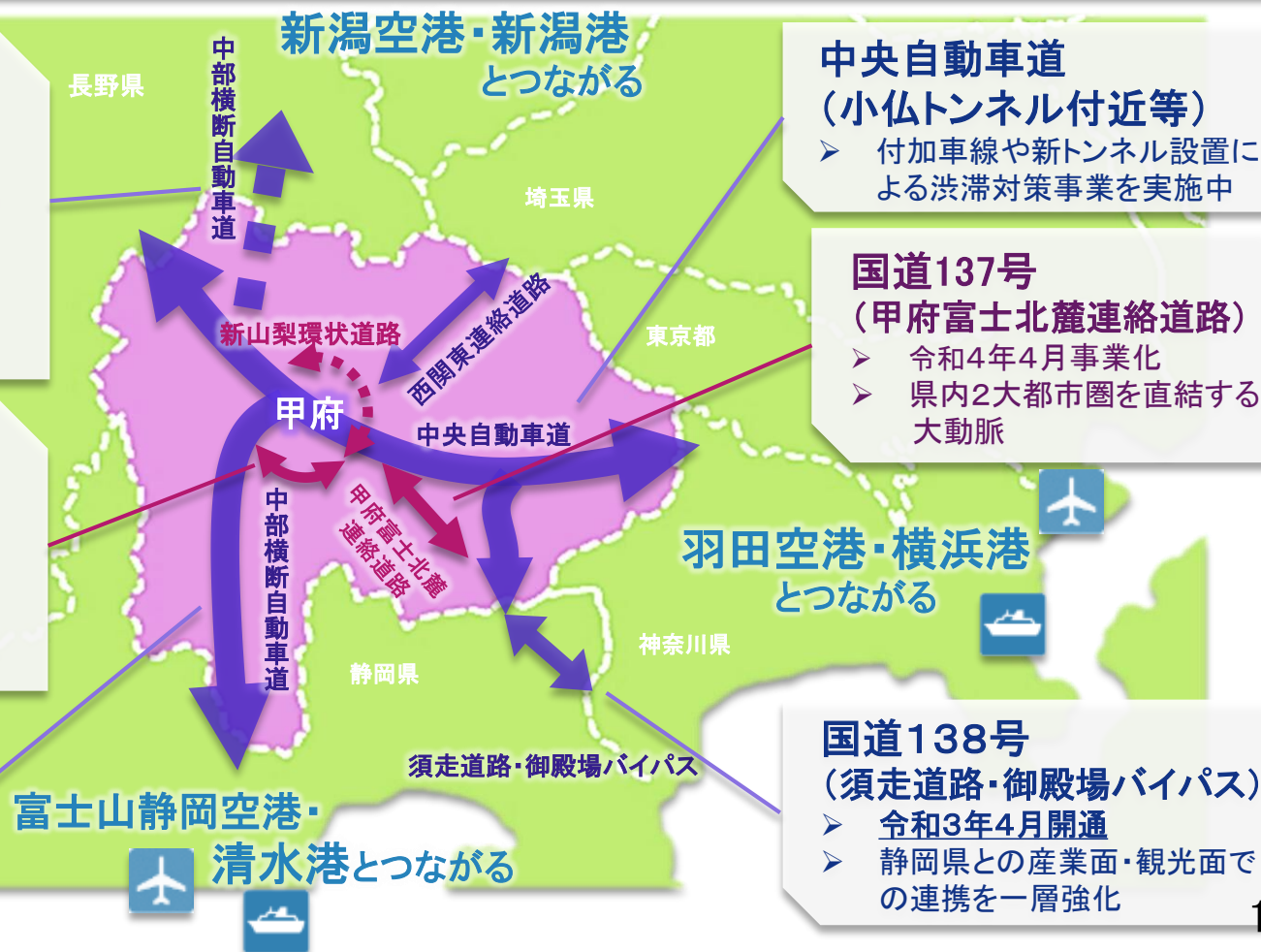
- 令和5年7月 国土交通省より、山梨・長野両県に具体的なルート案が送付され都市計画決定の手続きに着手
- 今後、開通することで長野・新潟方面とのアクセス向上

新山梨環状道路

- 南部区間(平成24年12月)、東部区間Ⅰ期(令和4年11月)開通
- 東部Ⅱ期と北部区間の一部で事業中
- リニア駅への円滑なアクセス

中部横断自動車道 (静岡～山梨間)

- 令和3年8月 全線開通
- 静岡県との連携による産業・観光の活性化



中央自動車道 (小仏トンネル付近等)

- 付加車線や新トンネル設置による渋滞対策事業を実施中

国道137号 (甲府富士北麓連絡道路)

- 令和4年4月事業化
- 県内2大都市圏を直結する大動脈

国道138号 (須走道路・御殿場バイパス)

- 令和3年4月開通
- 静岡県との産業面・観光面での連携を一層強化

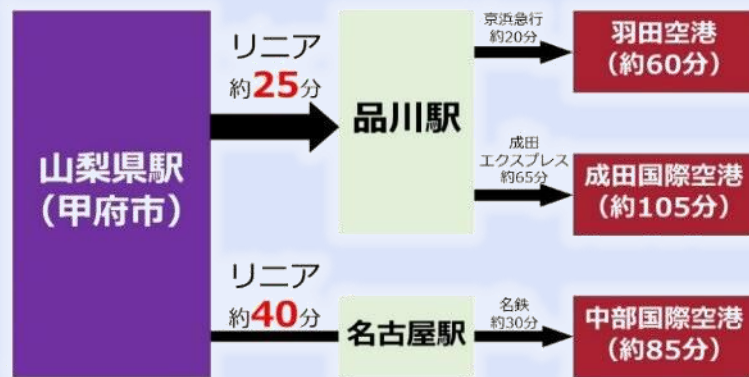
3. 開化するやまなし

リニア中央新幹線

○ リニア駅をゲートウェイにやまなしは国内外に開かれた地域へ



◆ リニア開通で空港へのアクセスが向上



※ 各駅停車の場合。乗り換え時間を含む。

◆ 各都市との地価比較

住宅地平均価格(令和5年1月1日現在) (単位:円/㎡)

都市	地価
埼玉県さいたま市	222,100
千葉県船橋市	163,700
千葉県松戸市	140,800
東京都国分寺市	299,800
神奈川県横浜市	238,700
山梨県甲府市	43,700

国土交通省「令和5年地価公示」より。

⇒企業立地・移住先として魅力的な条件

◆ リニア開通で東京から25分圏都市へ





関連サイト

- リニア開業に先駆けて、常に新しいチャレンジが生まれる地・山梨のブランドを確立
 → 国内外から目的地として選ばれる県に
- スタートアップ企業等が本県をフィールドに実施する最先端技術に関する実証実験をフルサポート

TRY！YAMANASHI！実証実験サポート事業

◆ 特徴

- ✓ 補助金による資金援助
- ✓ 実証フィールドの斡旋
- ✓ ステークホルダーとの調整 など

ハンズオンで企業に寄り添い支援

➔ サポートを受けた企業から高い評価

【第1期～第4期のエントリー等の状況】

	第1期	第2期	第3期	第4期
エントリー数	43社	37社	44社	56社
採択数	8社	6社	7社	7社
実証期間	R3.9～R4.2	R4.4～R4.9	R4.9～R5.2	R5.4～R5.9

引き続き第5期・第6期についても実施予定

◆ 実証プロジェクト(事例1)

過疎地域での新たな物流システムの構築



(小菅村でのドローン配送の様子)



【新スマート物流】

- ・ドローン配送
- ・貨客混載
- ・共同配送 等

山梨モデルとして全国展開

◆ 実証プロジェクト(事例2)

完全オフグリッド※住環境の実現



(ハケ岳LACオフグリッドフィールド)

- ・最適設備運用モデルの構築
- ▼
- ・レジャー市場、住宅市場への進出
- ・オフグリッドキャンプ場オープン

※オフグリッドとは、電気・ガス・水などのライフラインを既存のインフラに依存しない独立した生活様式のこと。

- 令和10年度の開館50周年に向け「新たな価値を生み出す美術館ビジョン」策定(R5.6)
- 文化的価値に加え、社会的・経済的な豊かさの創出を「新たな価値」に位置付け



- ◆ ミレーの美術館
 - 昭和53(1978)年の開館以来、自然豊かな農業県にふさわしいコレクションとして、継続的にミレー、バルビゾン派作品を収集
 - 《種をまく人》購入時に全国で話題に！

- ◆ 山梨の魅力発信
 - 山梨ゆかりの美術・文化、作品・作家の紹介を通して県内外に山梨の魅力を発信



- ◆ 未来への継承
 - ミレーが描いた自然と人の営み、大地に根付いた暮らしといった普遍的なテーマは、SDGsの観点や、コロナ後の世界にとって、現代を見つめ未来を考える道標に

- ◆ 最先端デジタル技術の活用可能性の拡大
 - メタバースを活用した作品の制作・展示



©2022 takakurakazuki



©2022 takakurakazuki



- ◆ デザイン分野への取り組みの強化
 - 美術館附属デザインセンターの設置に向け調査検討

4. 未来へ進化するやまなし

富士五湖自然首都圏構想



関連サイト

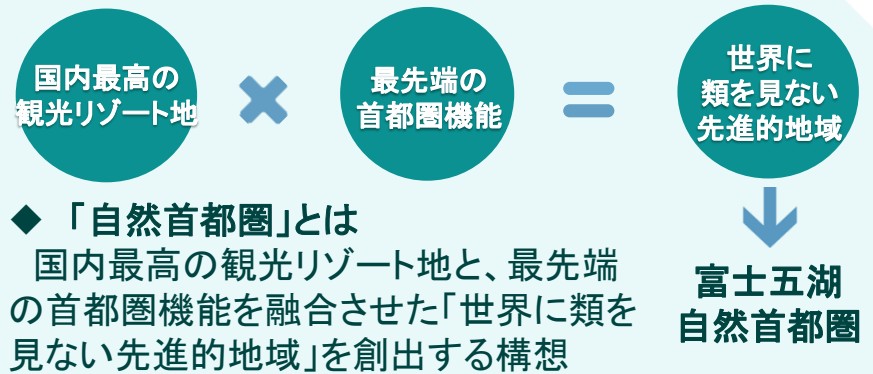
○ 富士山の「世界文化遺産登録10周年」を契機として、世界に誇る富士山の裾野に広がる自然豊かな地域であり、日本を代表する観光リゾート地でもある「富士五湖地域」を、新たな時代に求められる「自然首都圏」へと発展させていくことをめざし、令和4年12月に産官学労社広民の協働組織体「富士五湖自然首都圏フォーラム」を設立

◆ 「富士五湖自然首都圏フォーラム」とは
知事を代表とし、産学官等の協働組織体として、企業・組織の創発の場として機能

最高顧問 大村 智氏 隈 研吾氏 山東 昭子氏
(北里大学 特別荣誉教授) (建築家) (前参議院議長)

代表 山梨県知事 長崎 幸太郎

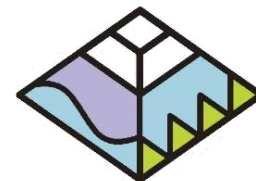
会長 山梨県顧問 田坂 広志
(多摩大学大学院 名誉教授)



◆ 5つのワーキンググループ

「自然首都圏」実現のため5つのワーキンググループを発足
多くの企業や団体に参画いただき、先進的な取り組みが絶えず創造される地域づくりを進める





山梨県総務部財政課 資金管理担当

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

TEL 055-223-1384

FAX 055-223-1385

MAIL zaisei@pref.yamanashi.lg.jp

WEB <https://www.pref.yamanashi.jp/>

- ◆本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。
- ◆本資料に掲載している情報は修正される場合があります。
- ◆本資料内のデータは、信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。